

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月15日(木)

事務事業		健康づくり応援事業		担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29111	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	健康増進法・食育基本法・深谷市健康づくり推進条例・深谷市健康づくり計画					
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、市健康づくり推進条例及び市健康づくり計画に拠り、市民を対象に健康教育・健康講座、市健康マイレージ事業及び食育推進事業を実施し、市民の健康に対する意識の高揚を促すとともに、官民協働の取組により市民自らが健康づくり活動を行うことを支援するものである。								
目的 ※何のために		健康づくりや食育に関する知識の普及・啓発、実践や取組に対する支援活動を行い、市民自らの健康づくり活動を促す。								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		健康長寿埼玉モデル事業、市健康マイレージ事業、健康づくり応援店登録事業、運動実践・健康講座、食育推進事業等により、健康づくりや食育に関する啓発活動及び、実践に対する支援事業を実施。								
成果 ※何を求めるか		健康に対する意識を醸成し、自ら健康づくり活動に取り組む市民が増える。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	衛生諸費	健康づくり応援事業	9,237,326
本事業の 主な業務		・深谷市健康づくり計画の推進					・食育推進事業の実施			
		・健康及び運動実践講座等の開催					・自殺予防対策の推進			
		・健康づくり等に関する啓発活動の実施					・熱中症予防対策の推進			
		・市健康マイレージ事業の実施					・			
		・健康づくり応援店登録事業の実施					・			
		・健康長寿埼玉モデル事業の実施					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・健康づくり支援アプリ継続	・健康づくり応援事業に事業統合、名称変更し一体的に健康づくり事業を推進	・健康づくり支援アプリ事業の拡大	・第2次市自殺対策計画策定		
事業費	予算(現額)	12,493,000	12,491,000	16,692,000	14,788,000		
	決算額	8,701,760	9,237,326	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	616,000	702,000	792,000		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	1,500	2,908,000	2,760,000		
		一般財源	8,084,260	8,545,326	11,236,000		
人件費	従事職員数(人)	1.82	1.65	2.31	2.31		
	人件費相当試算※	14,126,685	12,984,769	18,933,654	18,933,654		
総事業費試算		22,828,445	22,222,095	35,625,654	33,721,654		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	健康づくり・食育推進事業開催数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		実績値	225.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度ごとに事業を見直すため目標設定なし/実施回数（実績）						
	実績値の算出式									
成果指標 1	健康づくり・食育推進事業総参加者数	目標値	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		実績値	8,545.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度ごとに事業を見直すため目標設定なし / 年間参加者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	健康づくり・食育活動団体加入者数	目標値	人	300.00	305.00	310.00	315.00	320.00	325.00	
		実績値	205.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績値から目標値を設定 / 保健センター事業関連団体加入者						
	実績値の算出式									
成果指標 3	ためるんピックふかやに参加して健康に関する意識が高まった人	目標値	%	91.00	94.00	94.00	94.50	94.50	95.00	
		実績値	94.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			健康づくりに関心をもつようになった及び取り組むようになったと回答した人の割合 / 達成者アンケート						
	実績値の算出式									
成果指標 4	健康的な食生活に気をつけている市民の割合	目標値	%	86.60	86.70	86.80	86.90	87.00	87.10	
		実績値	81.20							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市まちづくりアンケートより把握 / 市まちづくりアンケート						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	人数制限による講座及び出張講座を再開。市健康マイレージ事業やプラス1000歩運動、健康づくり支援アプリ事業等、ライフスタイルに応じて個人で取組める健康づくり・食育推進を継続実施。また健康づくり応援店への活動支援、コロナ禍による全国的な自殺者数増加を鑑み、予防強化のためモバイル版セルフチェック、相談窓口（チャット・web、電話、対面）の周知、グリーンケア講座を開催したことから、評価をAとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	市まちづくりアンケートでは健康づくりへの市民の重要度は高く満足度も高い状況である。健康づくりや食育推進事業の参加者数は増加し、市健康マイレージ事業の達成者では健康に関する意識が高まった人の割合は8割を超えているが、健康的な食生活に気をつけている市民の割合は8割を超えるが目標値に達していない状況にある。今後も広く市民が健康づくりや食育に関心をもてるような取組みが重要であることから評価をBとした。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	令和4年度より市民の健康づくり支援を一体的に推進するため、健康づくり推進事業と健康マイレージ事業を統合し「健康づくり応援事業」とした。従来取り組んでいる電子申請による講座申込みに加えて、市健康マイレージ事業の登録事業申請方法に電子申請を取り入れた。また講座の実施方法について、市民の利便性や業務改善を図るため、部分的に検討の余地があると考え、評価をBとした。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	・官民協働の健康づくり支援と食育推進の継続 ・個人のライフスタイルに沿った健康づくり支援の継続
達成状況及び その効果	市健康マイレージ事業（ためるんピックふかや）や健康づくり応援店登録事業、健康づくり連携協定企業との協働、及び運動実践講座等の民間委託により、それぞれの強みを活かした市民の健康づくり支援を実施。また健康づくり支援アプリ事業により、個人のライフスタイルに沿った助言・指導を行うことができ、健康課題の改善に繋がるなど効果がみられている。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	健康づくり応援事業	担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29111
<div><div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div>□ ②現状のまま継続</div><div>□ ③見直しして継続</div><div>□ ④目的達成による終了</div><div>□ ⑤廃止を検討</div></div><div><div>□ 委託化等の検討</div><div>□ 成果向上のための改善</div><div>□ 効率化のための改善</div><div>□ 事業規模の縮小</div><div>□ 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>健康に関心をもち、自ら健康づくりに取り組む市民を増やすためには、市全体で市民の健康づくりを支援する仕組みづくりが必要であり、その構築に官民協働の取組みは不可欠であると考え。併せて、ライフスタイルが多様化するなか、個人に沿った健康づくりの支援を行う事業の強化が重要であり、特に健康課題の多い働き盛り世代や、健康づくりや食育に関心をもつ契機となり得る妊婦への支援を強化・拡大することが必要であると考え。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター 所長 穂山光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	・官民協働の健康づくり支援と食育推進の強化：健康&食育イベントの共同開催 ・個人のライフスタイルに沿った健康づくり支援の拡大：健康づくり支援アプリ事業の妊娠期コースの設定
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	・官民協働の健康づくり支援と食育推進の継続・強化：ウォーキングイベント等の共同開催

8. 評価指標グラフ

